

1. 目的

生徒相互の主体性を尊び、創造性と協調性を向上させ、正しいマスコミュニケーションの理解をはかる。また、高校生の豊かな創造性を育み、芸術的感性の向上をめざす。あわせて校内放送活動の活性化をはかる。

2. 主催・主管

主催：神奈川県高等学校文化連盟 (<http://www.kanabun.jp/>)

神奈川県高等学校視聴覚教育研究会 (<http://kanakousiken.nomaki.jp/>)

神奈川県教育委員会 (<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kyoikusomu/>)

主管：神奈川県高等学校文化連盟放送・情報専門部

(神奈川県高等学校視聴覚教育研究会 校内放送委員会)

後援：tvkテレビ・FM横浜・朝日新聞社横浜総局・神奈川新聞社・毎日新聞横浜支局
読売新聞横浜支局

3. 参加資格

【神奈川県高等学校総合文化祭 放送部門】

県高等学校文化連盟加盟校における1・2年生とする。(未加盟校は要相談)

【第31回全国高等学校総合文化祭(島根大会) 放送部門】

県大会で優秀な成績を修めた生徒・作品を、順位順に上位から推薦する。なお、推薦するにあたっては各部門1校1生徒(1作品)のみとする。

ただし、以下の項目に該当する場合は、全国大会に推薦されない。

各部門で全国総文祭に出場した経験のある生徒は今年度の同部門には推薦されない

【第4回関東地区高校放送コンクール】

県大会で全国大会に推薦された生徒・作品について優秀な生徒・作品を、全国大会推薦者を除いて順位順に上位から推薦する。

4. 日時

2006年11月12日(日) 9:00～16:00

・総文祭部門受付 9:00～ 9:40

・作品提出(受付の隣) 9:00～ 9:40

・審査 10:00～16:00

・閉会式 16:00～17:00

5. 会場：神奈川県立横須賀高等学校(上履き必要)

6. 部門・参加本数・参加費用

	アナ	朗読	オーディオピクチャー	ビデオメッセージ
参加本数	2本	2本	2本	2本
参加費用	無料			

7. 表彰

アナウンス・朗読：各1～10位

1位に教育長賞、2～6位に高文連会長賞、
7～10位に高視研会長賞

オーディオビジュアル：上位6作品

1位に教育長賞、2位に高文連会長賞、3～6位に高視研会長賞

ビデオメッセージ：上位6作品

1位に教育長賞、2～3位に高文連会長賞、
4～6位に高視研会長賞

注1)

2007年度全国高等学校総合文化祭（島根大会）には次の本数を推薦する。

アナウンス・朗読	各3人
オーディオビジュアル	1作品
ビデオメッセージ	2作品

注2)

2006年度関東地区高校放送コンクール（2007年1月20日実施）には次の本数を推薦する。

アナウンス・朗読	各3人
オーディオビジュアル	1作品
ビデオメッセージ	1作品

注3)

第21回神奈川県高等学校総合文化祭 放送部門最優秀作品（教育長賞）と高文連会長賞の表彰は、平成18年度第21回神奈川県総合文化祭 閉会式（2007年1月20日）に行なわれる。

注4)

審査対象作品が少なかった場合は、表彰本数を減らすことがある。

8. 審査・審査基準

- ①各部門、教員審査員とtvkテレビ、FM横浜からの特別審査員（予定）による。
- ②別紙、「審査の観点」に基づき、審査を行なう。
- ③規定違反の場合、原則として減点・失格の対象となる。
- ④詳細は、審査員およびコンテスト運営委員長の協議による。

9. 参加申込

- ①期日：2006年10月7日(土)
- ②会場：日本大学藤沢高校
- ③時間：参加申込 14:00～14:30
- ④提出物：□申込用紙・領収書（アンパン・総文祭共通、要校長印・顧問印）
□出場カード
□審査部門希望カード

注1）郵送などによる参加申込は一切受け付けない。

注2）提出物については、くれぐれも間違いや忘れ物のないよう、慎重に準備し、顧問の確認を受けること。

10. 大会当日の受付

- ①総文祭部門受付 9:00～9:40
受付でプログラムを受け取り、審査会場・番号を確認して、
封筒・スクリプト(2部)・MD・CD-ROM・MiniDVに記入する。
- ②封筒提出 9:00～9:40
記入を終えた作品封筒を、総合受付となりの役員校係に提出する。

11. 神奈川県高等学校総合文化祭放送部門諸規定

※次年度の全国総合文化祭放送部門参加要領に準ずる。

7-1 全国総合文化祭放送部門参加要項（2007年島根大会） 参照

A アナウンス部門

- ①内容：郷土の話題を全国の仲間に伝える内容の未発表の自作原稿とします。校内の話題は不可です。
J P E G形式の静止画像（5枚以内）を投影するものとします。B G Mは使用できません。
☆（あなたの住む地域の伝説・民話・神話に関する話題を全国の高校生に伝える内容を原稿とします。
ただし、20世紀までの伝説・民話・神話とします。）
- ②時間：1分30秒以内。学校名、氏名を含む。
- ③審査方法：NHK大会と同様な実演発表審査とする。
- ④計時：アンデパンダン大会・番組制作部門諸規定に準ずる。
- ⑤ラベル：アンデパンダン大会・番組制作部門諸規定に準ずる。
- ⑥規格：J P E G形式デジタル静止画像（解像度1024×768以上で撮影保存すること）
ア) プロジェクター（1台）よりパソコンからデジタル静止画像を投影します。
イ) 画像データはC D - R O Mにより提出してください。
ウ) 画像投影は発表者以外の自校生徒が操作してください。
エ) ファイル名は神奈北高校なら「kanakita01」「kanakita02」…と投影順に付けてください。
- ⑦原稿は番組用の原稿用紙を使用してください（Nコン赤本）

B 朗読部門

- ①内容：それぞれの郷土にゆかりのある作家及び作品の中から原文のままを一部選んで原稿とします。
M Dによる効果音やB G Mを併用できます。デジタル静止画像は使用できない。
- ②時間：2分以内。校名、氏名を含む。
- ③審査方法：NHK大会と同様な実演発表審査とする。
- ④使用M D：一本のM Dに1作品分を再生順に録音したものとします。その他アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。
- ⑤再生：S E, B G Mは発表者以外の自校生徒が操作してください。
- ⑥計時：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。
- ⑦ラベル：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。
- ⑧原稿は番組用の原稿用紙を使用してください（Nコン赤本）

C オーディオピクチャー（A P）部門

- ①内容：郷土に関する話題を全国の仲間に伝える内容の自作原稿をM Dに録音する。ステレオ音声と
J P E G形式の静止画像（50枚50MB以内）を併用した未発表の作品とする。
ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問わない。
- ☆（あなたの住む地域（所属する学校のある都道府県内）の伝説・民話・神話に関する作品とします。
ただし、20世紀までの伝説・民話・神話とします。）
- ②時間：5分以内。
- ③使用M D：一本のM Dに1作品分を再生順に録音したものとします。その他アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。
- ④録音・再生：ステレオ再生。
- ⑤計時：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。
- ⑥ラベル：アンデパンダン大会・番組制作部門規定に準ずる。
- ⑦再生：画像投影は自校生徒が操作すること。
- ⑧原稿：Nコン番組用原稿用紙を使用。
- ⑨規格：J P E G形式によるデジタル静止画像。
ア) プロジェクタは1台。
イ) 50画像以内、総容量は50MB以内とします。
ウ) 画像データはC D - R O Mにより提出してください。
エ) ファイル名は神奈北高校なら「kanakita01」「kanakita02」…と投影順に付けてください。

6-4

D ビデオメッセージ（VM）部門

- ①内容：郷土に関する話題を全国の仲間に伝える内容のビデオ作品。
☆（あなたの住む地域に関する話題をとりあげた作品としてください。）
自校オリジナルのビデオ作品とします。
- ②時間：5分以内。前後に20秒のテストパターンを入れる。
形式はNHK杯全国高校放送コンテスト様式規定7に準じる。
動きのあるテストパターン、フェーダーを使用したテストパターンは禁止。
- ③計時：番組本体についてのみ行なう。
- ④規格：MiniDVとする。
- ⑤ラベル：アンデパンダン大会番組制作部門規定に準ずる。
- ⑥その他：上記以外の規定については、NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会の実施要領に準じる。

※ 共通事項：**18 著作権処理について**にしたがって適切に著作権の処理を行ってください。

12. スクリプトに関する規定

- ①Nコン赤本 掲載の番組用原稿用紙を使用する。（インターネットからのダウンロードのこと）
- ②作品1本（1人）について2部提出する。
- ③スクリプトと MD, MiniDV, CD-ROM を角3の封筒に入れ、封筒の表にはスクリプトの表紙と同様の記載をする。
- ④スクリプト表紙（及び封筒表書）の見本

<アナウンス、朗読>

作品名	作者名	氏名	学校名	朗読部門
こころ	夏目漱石	高橋圭三	県立△高等学校	[A] 会場
				[13] 番

<AP・VM>

制作代表者	再生時間	タイトル	学校名	AP部門
神奈川次郎	4分40秒	おお青春	県立神奈川県立高等学校	[B] 会場
				[22] 番

注意1 アナウンス部門は、作者名・作品名は不要。

注意2 [] のなかは、大会当日、プログラムを見て記入する。

15. その他

上記以外の規定については、第53回NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川県大会の実施要領に準じる。

16. 諸注意

- ①閉会式終了後、スクリプト・MD・miniDV・CD-R等を返却するので必ず受け取ること。
- ②大会当日の運営に関することは、すべて顧問を通して本部に申し出ること。
- ③ゴミは会場校に残さず各自で自宅に持ち帰ること。
- ④会場校は上履きが必要なので必ず持参すること。